

市議会議員

おのざわ康弘の

会派活動報告

ひげ通信



2016

47.48

発行日 16-04(やまぶき会 小野澤康弘)

おのざわ康弘ホームページ
Tel.049(232)5789 Tel.049(231)4850 http://onozawayasuhiro.com/

議会報告 (12月定例会、1月臨時、3月定例会)

平成28年2月19日より3月定例市議会が開会され、市長提出議案48議案他、議員提出議案を含め全てが原案可決され3月18日に閉会となりました。今年に入り、昨年12月議会で議案提出された新学校給食センター建設運営に関する議案が文化教育常任委員会で継続審議となり、1月の臨時議会で議決された事を含め、1月に引き続き2月からの議会という事で年明け早々から市議会も活発な動きでした。

さて、3月議会という年度の変わり目であり、新年度(平成28年度)に向けた予算を審査する大変重要な議会でもあります。また、今回提案された平成28年度一般会計予算、特別会計予算は合計すると1987億8473万4千円であり、その内一般会計予算が1109億6000万円です。前年度対比では、0.5%増となっており、平成26年度から3年連続で1100億円を超える予算規模となりました。歳入(収入)は若干の増加は見込むものの、歳出(支出)では義務的経費である扶助費や公債費等が増加するなど状況的には大変厳しい財政状況を反映したものです。

今回の「ひげ通信」は昨年の12月議会、平成28年1月臨時議会、そして3月議会の総集編として平成28年度予算及び、12月、3月議会

の私の一般質問を中心に掲載させていただきます。

平成28年度予算

一般会計 1109億6000万円
特別会計 878億2473万4千円
総額 1987億8473万4千円

平成28年度市政方針及び

教育行政方針会派代表質疑



【市長への質疑】 (抜粋)

・市長の2期7年間の市政運営の成果をどのように捉えているか、総括していただきたい。

・第4次川越市総合計画において「子ども子育て」を柱とした意図について、伺いたい。

・次代を担う子どもたちの教育に対する取り組みやお考えについて伺いたい。

・企業誘致や創業支援により、新たな活力を積極的に取り入れるべきと考えますが、いかがでしょうか？
・地域内分権についての今後の展開

と市長が目指されている住民自治のお考えについて伺います。

【教育委員長への質疑】

・情報化、グローバル化が著しい速度で進んでいる現在、学校教育における情報教育というものは大変重みをもつてくるのではないのでしょうか。

情報教育においては、まず子どもたちが主体的に情報収集し、取捨選択し、それを活用する能力を育成することが必要だと考えます。それと同時に、情報モラルの意識を高めることも大変重要となってきます。

生まれたときからインターネットが身近にあり、子どもたち自身も携帯電話やスマートフォンを所有している今の世代は、私たち大人が思っている以上に情報収集や活用する能力を既に持っていると思います。しかしながらインターネットを介した情報などが日常生活に溶け込んでいくがゆえにその危険に気づかないといった危うさも感じられます。最近のニュースでは、サイバー

犯罪の低年齢化も指摘されており、犯罪とまでは行かなくてもSNSなどがいじめの温床となっているような面もごいます。このあたりも情報教育の一環として、

大人が責任を持って行かなければならないのではないかと感じております。そこで、今後情報教育をどのように推進していくのか伺います。

主な議決案件

3月定例議会の主な議案

(2月19日～3月18日)
 条例の制定について 6件
 (原案可決)

条例の一部改正について 21件
 (異議有り、退席者) (原案可決)

条例の廃止について 1件
 (異議有り) (原案可決)

包括外部監査契約について 1件
 (原案可決)

道路線の認定について 1件
 (原案可決)

平成27年度補正予算 (反対有り) (原案可決) 5件

平成28年度当初予算 (反対有り) (原案可決) 10件

同意第1号 (副市長の選任) 1件
 (栗原 薫) (同意)

同意第2号 (副市長の選任) 1件
 (板東博之) (同意)

同意第3号 (教育長の任命) 1件
 (新保正俊) (同意)

議員提出議案 (原案可決) 1件

特別委員会報告 (継続審査) 4件

〈主な議案から〉

平成28年度予算(一般会計予算)については平成28年度、各部署予算要求の段階では約111億ものひらきがあり、財源の不足がありました。この事について

詳しくは議会だよりを参考に
 ※会派やまぶき会は全ての議案に賛成いたしました。

本会議質疑の答弁では財源不足の解消として主に歳出の要求額に対して削減を行い、部局全体の予算編成枠に区分される経常的な事業については原則、一般財源の額を前年度に対して3%減額し予算要求するものとし、査定を行ったことと各所管課との予算ヒアリングにより事業効果の低い事業や不要不急な事業を縮減、又は翌年度以降に見送る等の見直しを行うと共に決算状況を適切に反映することとし、事業経費の見直しを行ったこととあります。又、市長査定については個々の重要事業に対する政策的判断を仰ぎ、予算編成に至ったこととあります。しかしながら最終的には約111億円の乖離額の解消には至らず、財政調整費の取り崩し等により今回の1109億円の一般会計予算に至ったこととご答弁をいただきました。

主な事業

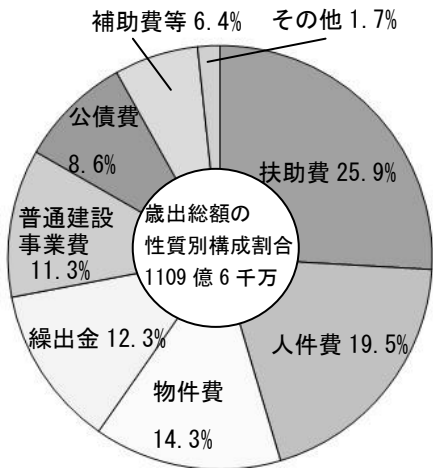
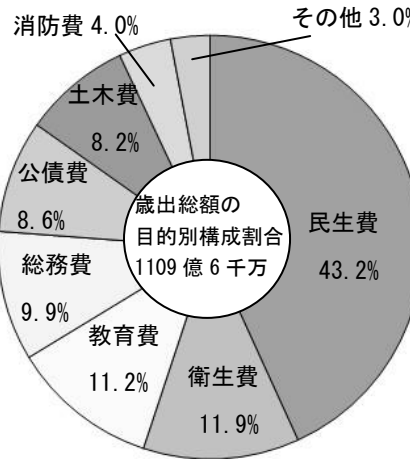
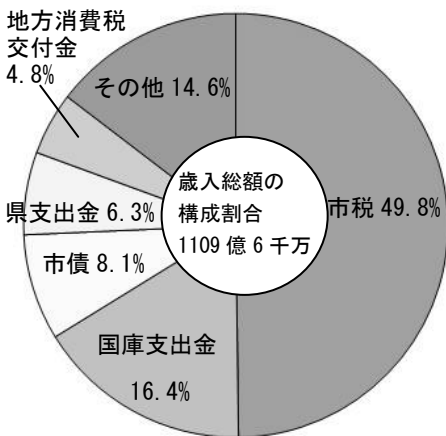
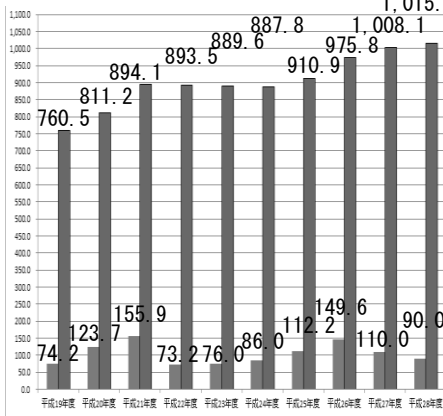
- ・地域住民の生活環境の保全とともに、空き家等の活用を推進するため、空き家に関する実態調査等を行うための予算を計上した。
- ・児童扶養手当を受給している市内のひとり親家庭の中学生を対象に、基礎的な学力の向上を図るための学習の支援と、進学相談等を行うための予算を計上した。
- ・産前産後の支援体制の充実を図るため、支援が必要な妊婦への相談体制の確立と産後直後の母子に対する心身のケアや育児のサポート等を行うための予算を計上した。

- ・川越駅西口市有地利活用事業に伴い、川越駅西口からの施設利用者の安全性の確保及び利便性の向上を図るため、川越駅西口駅前広場歩行者用デッキを西口市有地北端まで延伸する設計を行うための予算を計上した。
- ・新斎場建設事業に伴う周辺環境整備の一環として、地域の憩いの場としての機能を有する公園を整備するための予算を計上した。
- ・小学校普通教室に空調設備を導入する工事を行うための予算を計上した。
- ・川越運動公園陸上競技場について第2種公認の更新に向けた改修工事等を行うための予算を計上した。(一部抜粋)

※選挙にかかると費用

平成28年度予算
 川越市長選挙 71,437千円
 参議院選挙 82,818千円
 平成27年度執行済み
 市議会議員選挙 105,054千円
 県議員選挙 48,856千円
 埼玉県知事選挙 69,081千円

市債残高・市債借入額の推移



一般会計の構成割合

行政の情報は市民の共有財産である

私の議会質問

12月議会一般質問

「地域の生活環境に関する諸問題（いわゆる「ゴミ屋敷」）について」質問要旨

「ここ数年の間、いわゆる「ゴミ屋敷」問題が社会現象化し、数多く取り上げられるようになりまし

た。現状では川越市でもこのような問題が顕在化しつつありますが、総合的に対応する部所は無く、

ゴミを収集する課が主に担当しています。私は「ゴミ屋敷問題」への対応とは、環境部所だけの問題で

は無く、全庁内横断的な連携により対応することが好ましく、決して「ゴミを撤去することが解決策

では無く、そこに住む方に対してきめ細やかな対応として福祉や

居住者支援策などが必要であり、出来るだけ再発しないような状況

をつくりあげていくことが重要と考え、今後の「ゴミ屋敷等」への対応策について市の考えを伺いま

した。

質問項目

- ・「ゴミ屋敷」とはどのような状態か
- ・「ゴミ屋敷」が生まれるというか
- ・発生してしまう要因とその背景
- ・本市において「ゴミ屋敷」に関す

る苦情などの状況はどうなっているか
・埼玉県内の状況はどうか
・「ゴミ屋敷」が周辺住民に与える影響としてどのようなことがあるか

・本市で「ゴミ屋敷」として認知できた件数の内、解決出来なかった理由はどのようなことか
・「ゴミ屋敷」は一度片付けてもまた「ゴミ屋敷」になってしまっていると聞くがどのようなことか

・東京都足立区や京都市の事例が話題になっているが「ゴミ屋敷」を発生させない、発生してしまった場合においても早期に解決していくためには、地域コミュニティや組織の横断的な役割が重要と思うが、他市の取組みはどうなっているか

・いわゆる「ゴミ屋敷」の増加は本市においても容易に予想されます。こうした中で本市においても今後何らかの対応を図っていく必要があると思うが、本市の対応はどうか。

「川越市洪水ハザードマップについて」要旨

昨年9月に茨城県常総市における大水害による災害報道がありました。その中で堤防が決壊し被災を拡大させた衝撃的な出来事に対し、私達の住む川越市の地域周辺が河川に囲まれた状況を考えると、常総市のように断続的に降り続く豪雨が来ないとも限りません。私は

常総市の堤防決壊による被災された現地への視察報告とともに、現在、川越市が作成している洪水ハザードマップについて堤防決壊時の想定や、住民の洪水ハザ

ードマップの認知度などを確認し、今後の対策に備える事の重要性を指摘し、市の考え方を伺いました。

質問項目

- ・洪水ハザードマップとはどのようなものか
- ・洪水ハザードマップ策定の経緯について
- ・平成13年に策定された洪水ハザードマップを私から請求し頂いたことがあり、また、その後作られた洪水ハザードマップも頂いているが、そもそも新旧の洪水ハザードマップはどこに配布されているのか。
- ・洪水ハザードマップの見直しによる浸水想定着色区域の違いについて
- ・平成13年の洪水ハザードマップと平成22年のマップでは浸水想定着色区域の見直しにより着色が消えた区域での被害は

発生しないのかお伺いします。
・名細地区、霞ヶ関北地区について最近の小畔川の水位実績をふまえ、新しい洪水ハザードマップを市民がどの程度認識し、避難活用できていると考えるか
・洪水ハザードマップがあるものの、想定外の雨が降った場合、浸水想定区域や見直しされた区域を含めてどのように行うのでしょうか
・今後も異常気象等による雨量については予断を許せない状況も想定されるが、本市は洪水ハザードマップの見直しを行うのか



「(仮)新学校給食センター整備運営事業について」

文化教育常任委員会
平成27年度12月議会で上程された議案であったが、付託された文化教育常任委員会で継続審査となったため平成28年1月の委員会を経て、臨時議会にて議決されたものであります。この事業は民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用することにより本事業の効率的な推進を図るためのPFIを導入した事業であります。

契約金額：122億358,218円
契約期間：平成28年1月～平成44年8月
学校給食対象：小学校12校、中学校12校
供給能力：12000食/日
(アレルギー対応食約260食/日)

質疑要旨
川越市は現在、菅間にある学校給食センターの南側に新たにPFI事業方式

発生しないのかお伺いします。

「アレルギー対応食約260食/日」

川越市は現在、菅間にある学校給食センターの南側に新たにPFI事業方式

発生しないのかお伺いします。

「アレルギー対応食約260食/日」

川越市は現在、菅間にある学校給食センターの南側に新たにPFI事業方式

発生しないのかお伺いします。

を導入した新学校給食センターを建設いたします。PFI方式により民間事業者が15年間の運営にあたることから、費用対効果を含め特に児童、生徒に対する食の安全について重点に質疑しました。この1〜2年の間、食品製造及び調理工程で故意による異物混入等などが社会的に事件等に取り上げられている状況を考慮し、安全策として給食材料の搬入から調理、搬出までの作業工程に関し、カメラ等による可視化措置の導入を検討していただけるよう市側へ指摘をいたしました。市側の答弁では事業運営に対して調理作業の確認ができる施設となるようにしていきたいとの事であり事業者側も対応については可能であるとのこととありました。

平成28年3月議会一般質問

「国際マラソンの実現にむけて」

質問要旨

今年で7回目を迎える小江戸川越ハーフマラソンも市民や参加者の評価も連続して高く、たいへん人気のある本市のスポーツイベントであります。昨年は申込期間中、2日間で1万人の定員に達するほどの人気で、外部からの人も100点中92.2点と大変良い評価です。沿道からの応援も年々増えています。そこで今回の質問では大会当初の目的でもあった「市民の皆様がスポーツ及び健康づくりへの関心を高めること」について、本市では小江戸川越ハーフマラソンについては目的を

十分達成できていると考えていると評価を示されていることもあり、数々の質問を通して小江戸川越ハーフマラソンの国際化の実現を考えてみてはどうかと市長に考えをお伺いいたしました。

質問項目

- ・小江戸川越ハーフマラソンの種目、過去6年間の出走者数、完走率、沿道の観客数、募集日数
- ・協賛企業、協賛金の推移
- ・大会ボランティアの数及び役割
- ・過去6年間の外部からの評価及びランナーからの要望
- ・マラソン開始当初からの改善点
- ・小江戸川越ハーフマラソンのコースの特徴、長所、短所
- ・今年度の大会の事故対応と今後の対策

評価

- ・さいたま国際マラソンの経緯、概要、
- ・国内のフルマラソン大会数、代表的な大会
- ・国内のハーフマラソンの大会数、代表的な大会
- ・国内の国際マラソンの大会数、代表的な大会
- ・国内の国際ハーフマラソンの大会数、代表的な大会
- ・世界のフルマラソンの代表的な大会
- ・世界のハーフマラソンの代表的な大会

会

- ・小江戸川越ハーフマラソンの当初の目的である「市民のスポーツ及び健康づくりへの関心を高めること」等につ

いて市としてはどのように評価しているのか

- ・小江戸川越ハーフマラソンをフルマラソンで行う場合にクリアしなければならない課題、また国際化する場合にクリアしなければならない課題は？
- ・小江戸川越ハーフマラソンを国際化ハーフマラソンで行う場合にクリアしなければならぬ課題は？
- ・今までの質問を整理するとフルマラソンへの移行への課題はあるが、整理、検討も必要と思います。また、市長の28年度市政方針にもオリンピック及び、グローバル化、いわゆる国際化に関する項目が挙がっています。そこで、小江戸川越ハーフマラソンの国際化の実現について考えてみてはどうか、市長にお伺いします。

地域の活動

児童生徒の安全を！(西部地区内)

霞ヶ関西小学校区横断歩道の設置

この横断歩道はかねてより霞ヶ関西小学校の校長先生や地区交通指導員や住民の方々より要望が出ておりましたが、たいへん設置が難しかった場所でありました。地区国会議員小宮山先生や中野県議のご協力のもと、設置することができました。私もお手伝いさせていただきました。これからの児童、生徒の安全を願うものです。

(仮)霞ヶ関西公民館の建設推進

平成27年度は建物等の基本設計が終わり、平成28年度は地質調査、建物の実施設設計が予定されております。

ながわし公園整備の一部ではありますが、芝生公園が完成しました！



川越喜多院門前通り

歴史的地区環境整備街路事業

この門前通りは平成22年西小仙波町1丁目、小仙波1丁目を中心に要望等もあり、歴史まちづくり法による整備がされました。特徴としては今までの歴みちは石板やびんころ石を使用し、表面を施工してありますが、喜多院門前通りは表層にメジを入れ、強い石畳風の仕上がりでとてもきれいです。私も応援した甲斐がありました。ぜひ喜多院周辺の活性化を期待するものです。

